

中販連

だより

2020
Vol.58

指定生乳生産者団体 中国生乳販売農業協同組合連合会 機関誌



CONTENTS

- 年頭挨拶
- 臨時総会報告
- 令和元年度生乳出荷実績等
- 事業経過報告

Chugoku Fresh Milk Sales-Agricultural Cooperative Association

新年のご挨拶

「挑む年に向け」

中国生乳販売農業協同組合連合会 会長 岡田 穂積



新年明けましておめでとうございます。

生産者の皆様を始め、お取引先乳業及び関係機関の皆様にはご家族共々輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は中販連業務への多大なご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、地球温暖化の進行に伴い世界的な規模での気候変動が発生し、我が国においても、近年、深刻な豪雨・台風被害が多発しています。特に、昨年度に襲来した台風15号は千葉県を中心に関東の各地で大規模な水害や長期に亘る停電を発生させました。

亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げると共に、被災された方にはお見舞いと合わせ一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

酪農情勢に目を転じますと、生乳生産量は、北海道で増産基調にあるものの、都府県では総じて前年割れの状況にあり、その一方で飲用消費が堅調なことから都府県の家族経営層を中心とした生乳生産基盤の維持・回復が急務の課題となっています。

そのような中で中国生乳販連では、国のクラスター事業等の補助事業に加え、各県行政及び各会員組合で取り組んでおられる生産基盤対策事業等の奏効により、令和2年度の生乳生産は増産が確実視される状態にあります。

都府県の生産基盤が低迷する中にあって令和2年度の乳価情勢については、生産費が前年度と比較し変動が少ないとから、基幹用途となる飲用向け乳価については現行価格以上の要求で交渉に臨んでいますが、都府県において唯一とも言える増産可能な指定団体としての強みを

発揮し、有利販売に努め、実質乳価の上昇を目指します。

年明けと共に生産者の皆様には、令和2年度生乳受託販売契約の締結をお願いすることとなります。

一昨年(平成30年)4月に施行された改正畜安法において生産者には生乳販売の自由度が拡大されましたが、反面、その弊害として指定団体が懸念していた“いいとこ取り”と称される無秩序な販売委託関係が少数例とは言え発生をもたらすこととなりました。

このため施行3年目となる令和2年度の契約締結に当たっては、四季を通じた秩序ある生乳の出荷及び契約の遵守等に関して国の指導文書も発出しております

生産者の皆様には指定団体の需給調整や生乳販売機能が円滑に発揮できますよう生乳受託販売契約の1月内の締結にご理解をお願い致します。

乳代精算業務に関しては、いよいよ今年4月(令和2年度)より中国5県統一の乳価テーブルを適用した乳代精算システムが始動することとなります。

現在、会員組合においては乳価テーブルで減算対象となる低品質乳の発生阻止に向けた乳質改善への取り組みを鋭意進められておられます。が、酪農国際化の本格到来の中で勝ち残るためにも地場の優位性を生かした鮮度・風味を含む品質提供へのご理解をお願い致します。

最後に、本年が皆様方にとって大きな飛躍の年となります様ご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせて頂きます。

新年のご挨拶

新年を迎えるにあたって

中国四国農政局生産部畜産課課長 井 上 利 雄



明けましておめでとうございます。

令和2年という新しい年を迎えるにあたり、一言、御挨拶を申し上げます。

我が国酪農は、高齢化や後継者不足による酪農家戸数の減少等に伴って、乳用牛の飼養頭数も長らく減少傾向で推移してきましたが、ようやく平成30年から2年連続で増頭するなど、近年回復基調となっております。一方、生乳生産量は、北海道は増加傾向にあるものの、都府県の生産基盤の弱体化により、全国的には減少傾向が続いている。国産生乳に対する需要に応えるためには、都府県の生産基盤の強化を更に図っていく必要があります。

また、改正畜産経営安定法に基づく、新たな加工原料乳生産者補給金制度の運用が始まって早2年となろうとしております。

新たな制度では、補給金の対象を拡大するなど、生産者の創意工夫による所得向上の機会を創出しやすい環境の整備を行ったところです。一部では、生産者団体との契約を一方的に破棄

するような取引事例が生じてありますが、生乳取引は年間契約が基本であることを今一度徹底し、制度の適正かつ公正な運用に努めてまいりますので、引き続き関係者の皆様方の御理解・御協力を賜りますようお願いいたします。

さらに、国際環境に目を向けてみると、TPP11及び日EU・EPAに続き、本年1月1日に日米貿易協定が発効しました。農林水産省としては、今回見直した「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づき、酪農の体质強化対策・経営安定対策に取り組み、生産者の不安の払拭に努めてまいりたいと考えております。

本年も、将来の環境変化を見据えた対策を着実に実施することにより、我が国の酪農・乳業の一層の発展に努めてまいります。

皆様におかれましては、昨年にも増して、酪農行政への御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の一層の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

新年を迎えるにあたって

一般社団法人 中央酪農会議 会長 中 家 徹



新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。酪農家並びに関係の皆様におかれましては、日頃より、本会議事業につきまして、格別のご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。新春を迎えるにあたり、最近の酪農を巡る情勢を踏まえ、所信の一端を述べさせていただきます。

昨年は台風・豪雨災害の多発により全国で深刻な被害が発生しました。被害を受けられた方には心よりお見舞いを申し上げます。また、義援金の募集には、皆様の特段のご配慮を賜り、改めて感謝申し上げます。

さて、令和2年は、改正畜安法の施行後3年目となります。生乳受託を巡っての課題が見られる中、将来に渡る酪農の安定的な発展には、指定団体が、生乳取引、流通、需給調整等に果たす機能と役割が不可欠です。酪農家並びに関係団体の皆様には、その趣旨と重要性を踏まえた慎重な取組をお願いしたいと存じますし、本会議でも引き続き丁寧な説明や情報発信に務めたいと考えております。

令和元年は、都府県での生乳生産の減少傾向が続き、さらに自然災害が相次いだことで、全国の生乳需給には、例年になく課題を残す一年となりました。

今後とも性別精液・受精卵の活用や乳用後継牛の確保などの取組をお願いしたいと存じますが、本会議におきましても、酪農家戸数の増加を目指し、特に、新規就農の拡大を重点に、新たな取組を開始して参りたいと存じます。

酪農は、今後、大きな変化を向かえようとしております。中央酪農会議としても、酪農家の皆様が夢や誇りを持って将来に希望を持ち、安心して経営を持続できるよう、指定団体及び会員組織の皆様と連携し一層邁進して参る所存です。

本年も酪農家及び酪農関係者の皆様方のご支援、ご理解の程、宜しくお願い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



第16回臨時総会報告

新役員の選任について

中販連は、令和1年11月29日、岡山県農業共済会館4階会議室において第16回臨時総会を開催し、提出議案の任期満了に伴う役員改選が賛成多数で可決承認され、ようやく新たな役員体制が成立しました。

(1)本来、前年の通常総会（7月26日開催）において任期満了に伴う役員改選議案を上程すべきところ、役員候補者を選出する機関となる役員推薦会議を構成する役員推薦委員の決定が、管内5県のうち唯一2会員が所在する山口県において難航を極め、通常総会までの調整が出来なかったことから、やむなく通常総会への役員選任議案の上程を見送ることとなりました。

このため、定款に基づき任期満了となる現役員は通常総会の終結をもって一旦退任という形を取りますが、後日、改めて開催する臨時総会において選任された役員が就任するまでの間は現行の役員に組織運営を担っていただく異例の事態となりました。

(2)当連合会の役員推薦会議は、定款付属書役員選任規程において、別表の通り中国管内2地区の正会員から選出された5名（内訳は北中国地区2名と南中国地区3名）の役員推薦委員を構成員として開催されます。

(別表)

区 域	人数(区域定数)
北中国地区(鳥取県、島根県)	2名
南中国地区(岡山県、広島県、山口県)	3名

(3)当連合会の会員は設立以降18年間は県一会員で構成されたことから、役員推薦委員の選出は慣例的に、中国5県の各県から1名を割振ってきましたが、改正畜安法の施行を契機に平成30年度から山口県が1会員増の2会員となり、正会員数が5から6に増えたことにより、役員推薦委員定数に絞り込む調整が必要となりました。

しかし、この度の改選作業においては上述の通り役員推薦会議が開催できない状態に立ち至りました。

(4)このような停滞の打開に当たり、第8回理事会（10月1日開催）において既定の役員選任規則を改正し、別表の区域から推薦委員の候補者を選出する会員数が定数を超過する区域が生じた場合は、無記名投票による選挙により推薦委員を選出する正会員を決定することとしました。加えて、選出手順として役員推薦委員選出調整要領を制定し、役員推薦委員を5名に絞り込むこととしました。
①別表の北中国地区においては、会員数2（大山乳業農協、島根県農協）に対して区域定数も同数の2であることから、選挙は不要となり各会員からの選出者をそのまま役員推薦委員として決定しました。

②一方、南中国地区においては、会員数4（おかやま酪農協、広島県酪農協、山口県酪農農協、防府酪農農協）に対して区域定数が3であることから、11月1日に上記要領に基く選挙を実施した結果、おかやま酪農協、広島県酪農協、山口県酪農農協の3会員を役員推薦委員の選出会員として決定し、ようやく別表に規定された定数5名の役員推薦委員が決まりました。

(5)長期に亘る紆余曲折を経てようやく開催に漕ぎつけた役員推薦会議（11月13日開催）において全会一致で役員選任議案となる役員候補者（理事6名、監事2名）が決定され、その結果を会長に提出した後、11月29日開催の臨時総会において第1号議案として上程され、無記名投票の結果、賛成多数で可決決定しました（新役員名簿は以下の通り）。

また、第2号議案として、退任理事・監事に対する退任慰労金の支出の件について退任役員（岩竹理事、坂本理事、鈴木監事）に対する在任中の労に報いるため「役員退任慰労金積立規程」に基づき退任慰労金の支払いについて決定されました。

1. 新任役員

役職名	氏名	会員名	備考
代表理事会長	岡田 穂積	おかやま酪農業協同組合(組合長)	
代表理事副会長	小前 孝夫	大山乳業農業協同組合(組合長)	
代表理事常務	鍵山 信儀	中国生乳販連 (常勤役員)	
理事	温泉川 寛明	広島県酪農業協同組合(組合長)	新任
理事	石川 薫	島根県農業協同組合(常務)	新任
理事	原田 康典	山口県酪農業協同組合(組合長)	
代表監事	長恒 泰治	おかやま酪農業協同組合(専務)	
監事	西中 晃	広島県酪農業協同組合(専務)	新任

2. 退任役員

氏名	略歴
岩竹 重城	平成25年6月 広島県酪農業協同組合 代表理事組合長 平成25年7月 中国生乳販売農業協同組合連合会 理事 平成29年4月 中国生乳販売農業協同組合連合会 代表理事副会長
坂本 忍	平成27年3月 島根県農業協同組合 常務理事 平成27年3月 中国生乳販売農業協同組合連合会 理事
鈴木 道弘	平成25年6月 広島県酪農業協同組合 代表理事専務 平成25年7月 中国生乳販売農業協同組合連合会 代表監事

ご退任の岩竹前副会長、坂本前理事、鈴木前代表監事におかれましては、管内酪農振興へのご貢献に対し衷心より厚くお礼申し上げます。今後ますますのご健勝をお祈り申し上げます。

新任役員



温泉川理事



石川理事



西中監事

退任役員



岩竹前代表理事副会長



坂本前理事



鈴木前代表監事

1. 生乳受託実績の推移

(単位: t、%)

R01実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	構成比	戸数*
大山乳業	5,120.2	5,146.0	4,801.3	4,787.8	4,683.0	4,694.5	4,888.8	4,805.1	5,045.4	43,972.0	21.5%	114
内生産者	5,073.4	5,099.1	4,759.4	4,750.2	4,646.8	4,660.0	4,849.2	4,766.9	5,003.7	43,608.7	(99.2%)	111
内公共	46.8	46.9	41.9	37.6	36.2	34.5	39.5	38.2	41.7	363.3	(0.8%)	3
JAしまね	5,620.2	5,776.3	5,504.5	5,605.5	5,320.2	5,317.1	5,563.8	5,423.1	5,730.0	49,860.7	24.4%	90
内生産者	5,600.3	5,754.6	5,483.9	5,585.8	5,303.8	5,303.1	5,549.3	5,409.7	5,715.2	49,705.8	(99.7%)	88
内公共	19.9	21.7	20.6	19.7	16.5	13.9	14.5	13.3	14.8	155.0	(0.3%)	2
おか酪	7,685.1	7,850.3	7,385.2	7,384.2	7,049.7	7,176.8	7,660.1	7,551.6	7,962.2	67,705.3	33.1%	204
内生産者	7,527.6	7,691.3	7,231.2	7,230.1	6,897.0	7,024.5	7,497.7	7,397.9	7,801.7	66,298.9	(97.9%)	200
内公共	157.5	159.0	154.1	154.1	152.6	152.3	162.4	153.8	160.5	1,406.4	(2.1%)	4
広島県酪	3,637.6	3,727.4	3,529.5	3,563.7	3,500.0	3,451.5	3,473.6	3,325.9	3,485.1	31,694.2	15.5%	115
内生産者	3,580.5	3,670.6	3,478.9	3,518.0	3,454.1	3,401.3	3,417.6	3,272.6	3,431.4	31,225.0	(98.5%)	111
内公共	57.1	56.8	50.6	45.8	45.9	50.2	55.9	53.3	53.7	469.2	(1.5%)	4
山口県酪	884.7	897.5	824.0	790.2	741.5	747.3	788.6	767.1	806.5	7,247.4	3.5%	35
内生産者	879.1	890.9	817.8	784.7	736.4	742.4	783.1	762.8	802.3	7,199.6	(99.3%)	33
内公共	5.6	6.6	6.2	5.5	5.0	4.9	5.5	4.4	4.2	47.9	(0.7%)	2
防府酪農	453.0	451.3	406.2	403.1	421.1	408.2	423.8	420.9	443.3	3,830.7	1.9%	13
内生産者	437.2	436.6	394.8	392.1	406.5	392.5	406.7	403.8	424.8	3,695.0	(96.5%)	12
内公共	15.7	14.6	11.4	11.0	14.6	15.7	17.1	17.1	18.5	135.7	(3.5%)	1
中販連計	23,400.8	23,848.7	22,450.7	22,534.5	21,715.5	21,795.4	22,798.6	22,293.7	23,472.4	204,310.4	100.0%	571
内生産者	23,098.1	23,543.1	22,165.9	22,260.8	21,444.7	21,523.8	22,503.7	22,013.7	23,179.0	201,733.0	(98.7%)	555
内公共	302.7	305.6	284.8	273.7	270.8	271.5	294.8	280.0	293.4	2,577.4	(1.3%)	16

前年比	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
大山乳業	105.3%	103.7%	102.6%	104.1%	100.6%	100.8%	101.2%	101.4%	101.1%	102.3%
内生産者	105.2%	103.6%	102.5%	104.1%	100.7%	100.8%	101.1%	101.3%	101.0%	102.3%
内公共	117.8%	117.6%	112.7%	99.8%	97.7%	93.4%	116.7%	116.5%	108.1%	108.9%
JAしまね	95.7%	97.5%	99.4%	103.7%	100.0%	101.0%	102.1%	103.7%	104.1%	100.7%
内生産者	95.7%	97.5%	99.4%	103.8%	100.0%	101.1%	102.2%	103.7%	104.1%	100.8%
内公共	96.8%	90.7%	92.7%	95.5%	86.2%	75.8%	74.8%	77.6%	82.6%	86.4%
おか酪	95.0%	95.4%	95.4%	100.8%	98.3%	99.8%	103.5%	106.7%	106.9%	100.1%
内生産者	94.8%	95.1%	95.3%	100.8%	98.2%	99.7%	103.5%	106.7%	107.0%	100.0%
内公共	107.5%	106.6%	103.4%	101.2%	99.4%	106.6%	107.4%	105.7%	104.0%	104.6%
広島県酪	93.0%	92.4%	92.8%	94.1%	91.8%	98.2%	96.3%	95.8%	96.3%	94.4%
内生産者	92.8%	92.0%	92.2%	94.1%	92.0%	98.4%	96.3%	95.8%	96.5%	94.4%
内公共	112.2%	122.7%	177.5%	89.6%	78.7%	89.5%	95.4%	92.1%	89.4%	100.3%
山口県酪	98.6%	97.9%	97.5%	96.8%	93.6%	94.9%	96.2%	97.3%	97.0%	96.7%
内生産者	98.3%	97.6%	97.1%	96.5%	93.2%	94.7%	96.1%	97.3%	97.0%	96.5%
内公共	148.2%	175.5%	209.7%	208.7%	219.3%	145.1%	127.8%	106.5%	99.3%	152.3%
防府酪農	97.0%	97.2%	92.0%	91.5%	99.9%	98.0%	97.3%	99.5%	101.1%	97.0%
内生産者	96.3%	96.6%	92.0%	91.8%	99.9%	97.9%	97.0%	99.2%	100.9%	96.8%
内公共	122.5%	121.4%	93.1%	82.7%	100.4%	102.8%	103.5%	106.2%	107.1%	104.3%
中販連計	97.1%	97.2%	97.4%	100.7%	97.9%	99.8%	101.1%	102.6%	102.8%	99.6%
内生産者	97.0%	97.0%	97.2%	100.8%	98.0%	99.8%	101.1%	102.6%	102.8%	99.5%
内公共	110.3%	111.1%	113.0%	98.6%	95.1%	99.5%	103.9%	102.4%	100.4%	103.6%

※令和1年度及び30年度実績との比較。なお、両実績とも5県の公共機関を含む。

※実績値は農家発乳量を使用

2. 用途別販売実績の推移

(単位: t、%)

R1実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	構成比
飲用向	15,568	15,499	14,445	14,962	15,928	14,692	14,945	14,309	15,872	136,219	66.7%
学乳向	1,454	2,087	2,268	1,552	142	2,102	2,331	2,255	1,844	16,035	7.8%
醸酵乳向	4,797	5,031	5,106	5,270	5,150	4,472	4,861	4,850	4,262	43,800	21.4%
生クリーム向	361	283	292	269	267	249	244	341	472	2,777	1.4%
チーズ向	32	32	30	38	36	33	36	35	32	303	0.1%
加工向	1,189	916	311	444	192	248	381	504	990	5,176	2.5%
計	23,401	23,849	22,451	22,534	21,716	21,795	22,799	22,294	23,472	204,310	100.0%

前年比	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
飲用向	97.0%	98.6%	98.4%	96.7%	97.7%	98.6%	99.1%	100.3%	103.7%	98.9%
学乳向	95.1%	90.8%	93.4%	126.5%	93.8%	110.2%	98.3%	94.8%	110.5%	100.5%
醸酵乳向	95.2%	98.0%	95.4%	101.7%	99.9%	101.5%	105.6%	112.1%	97.7%	100.6%
生クリーム向	92.4%	72.3%	102.0%	99.7%	97.7%	91.0%	101.5%	109.5%	109.9%	96.9%
チーズ向	92.2%	89.2%	87.7%	110.6%	111.5%	96.2%	106.7%	101.9%	104.2%	99.8%
加工向	112.3%	96.5%	117.6%	245.4%	73.1%	81.5%	178.4%	118.7%	96.1%	110.4%
計	97.1%	97.2%	97.4%	100.7%	97.9%	99.8%	101.1%	102.6%	102.8%	99.6%

※令和1年度及び30年度実績との比較。なお、両実績とも5県の公共機関を含む。

※実績値は農家発乳量を使用

3. 生乳需給実績の推移(域内・域外)

(単位:t、%)

R1実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	シェアー
域内需要	21,695	22,257	21,191	21,201	20,147	20,587	21,564	20,871	20,917	190,431	(93.0%)
域外需要	1,716	1,553	1,226	1,293	1,513	1,160	1,244	1,394	2,421	13,520	(6.6%)
合計	23,412	23,810	22,417	22,494	21,659	21,747	22,808	22,265	23,338	203,951	(99.6%)
前年比	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
域内需要	96.9%	97.0%	97.8%	101.4%	97.8%	100.0%	101.9%	102.2%	98.7%	99.2%	
域外需要	99.4%	97.8%	93.2%	92.9%	98.4%	95.1%	94.5%	110.0%	156.0%	104.7%	
合計	97.1%	97.0%	97.6%	100.9%	97.9%	99.7%	101.5%	102.6%	102.6%	99.6%	

※令和1年度及び30年度実績との比較。なお、両実績とも5県の公共機関を含む。 ※実績値は農家発乳量を使用

4. 基準乳価の推移

(単位:円/kg)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
R1	受託乳量(t)	23,400.8	23,848.7	22,450.7	22,534.5	21,715.5	21,795.4	22,798.6	22,293.7	23,472.4	204,310.4
	基 準 乳 価	113.7720	114.4484	115.2652	114.4833	113.9997	115.3017	115.4193	114.9830	113.2587	114.5379
	成 分 加 算	2.3701	2.0826	2.0101	1.8950	1.5770	1.8702	2.2212	2.5555	2.7696	2.1565
	補 給 金	0.5425	0.5425	0.5425	0.2904	0.2904	0.2904	0.4842	0.4842	0.4842	0.4414
	合 計 (a)	116.6845	117.0734	117.8178	116.6686	115.8671	117.4622	118.1246	118.0227	116.5125	117.1357
H30	受託乳量(t)	24,096.6	24,536.2	23,048.9	22,369.7	22,175.8	21,830.5	22,540.4	21,734.3	22,833.0	205,165.5
	基 準 乳 価	110.4886	111.2323	111.7625	110.9431	110.1864	111.7598	112.0843	111.9189	110.0356	111.1492
	成 分 加 算	2.3416	2.1875	2.1093	1.8377	1.7128	2.0143	2.4224	2.6631	2.8268	2.2363
	補 給 金	0.5125	0.5125	0.5125	0.2710	0.2710	0.2710	0.4421	0.4421	0.4421	0.4114
	合 計 (b)	113.3427	113.9323	114.3843	113.0518	112.1702	114.0450	114.9489	115.0241	113.3045	113.7969
前年との比較(a-b)	3.3418	3.1411	3.4335	3.6168	3.6969	3.4172	3.1758	2.9985	3.2080	3.3389	

※令和1年度及び30年度実績との比較。なお、両実績とも5県の公共機関を含む。 ※実績値は農家発乳量を使用

※1~4の各実績表において、端数処理につき合計不一致の箇所あり。

発行 ● 中国生乳販売農業協同組合連合会
 編集・発行人 ● 澤井正史
 テレホン九八四 岡山県岡山市北区桑田町一番三〇号 岡山県農業共済会館四階

FAX TEL ○八六一三六一三三七一
 URL http://www.dairy.co.jp/chugoku/

事業経過報告(令和一年八月～十一月)

26	19	10	12	29	26	25	16	13	8	7	1	11	30	28	24	16	15	8	6	3	1	10	19	18	6	5	9	30	27	22	6	2	8	月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	月	日	日	日	日	日	日	日	日	日	月	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
生乳検査精度管理認証現地検査(岡山市) 中酪・理事会(東京都) 厚労省・集送乳HACCP会議(東京都)	第27回システムありかた検討会(岡山市) 第16回臨時総会第10回理事会(岡山市)	第9回理事会・役員推薦委員選出会員決定選挙(岡山市) 牛乳・乳製品料理コンクール(岡山市) 上期決算監査(岡山市)	南中國地区・役員推薦委員選出会員決定選挙(岡山市) 中酪・指定団体実務責任者会議(東京都) 酪農乳業定例会議(広島市) Jミルク理事会(東京都) 西日本需給会議(岡山市)	第4回会員実務責任者会議(岡山市) 酪農乳業定例会議(岡山市)	第8回理事会(岡山市) 中酪・生乳の安全安心担当者会議(東京都) 中酪・集送乳HACCP会議(東京都) 指定団体情報交換会議(東京都)	第26回システムありかた検討会(岡山市) 中酪・集送乳HACCP会議(東京都) 岡山県指導者研修会 生乳の安全安心確保中国地域協議会(岡山市) 島根県指導者研修会(島根県)	MILK ● JAPAN担当者会議(岡山市) 第3回会員実務責任者会議・停電時対応計画検討会(岡山市) 岡山県指導者研修会 生乳の安全安心確保中国地域協議会(岡山市) 島根県指導者研修会(島根県)																											
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	月	日	日	日	日	日	日	日	日	日	月	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	

編集後記

本紙記事にて掲載の通り、当連合会の役員改選は、長期に亘る糾余曲折を経て昨年11月29日開催の臨時総会にて役員選任議案が可決され、その後の理事会及び監事會における互選を経て新たな役員体制が成立しました。旧役員におかれましては任期満了となる7月29日の通常総会後から臨時総会までの4か月もの間、役員としての責任を遂行頂き、その労苦と重圧に対しまして衷心より深謝申し上げます。
 「天災は忘れたころにやつて来る」とは過去の格言。近年では毎年のように異常気象に起因する大規模な災害が発生し、被害の爪痕は酪農現場にも及んでいます。かねてより酪農現場の被害に対するは全国の酪農組織が連携して復興支援に向けた義援活動を取り組んでいます。
 昨年は当地区に上陸した台風10号から甚大な被害となつた台風15号(関東地方を中心)を含み台風21号までを対象に義援活動が行われました。
 その結果、全国では5千2百万円超の募金額となり活動主体である中央酪農会議における公平な分配により被害地に贈呈されました。当連合会は、前年に引き継続して支援を受けることとなりました。
 紙幅をお借りして全国の酪農及び関係者の皆様のご厚志に衷心よりお礼を申し上げます。